

無痛分娩に求められる助産ケアの探究



氏名：田辺けい子 Keiko Tanabe-Nishino

取得学位：博士(看護学)（北里大学 甲第967号）

所属：看護学科

研究分野：看護学、助産学

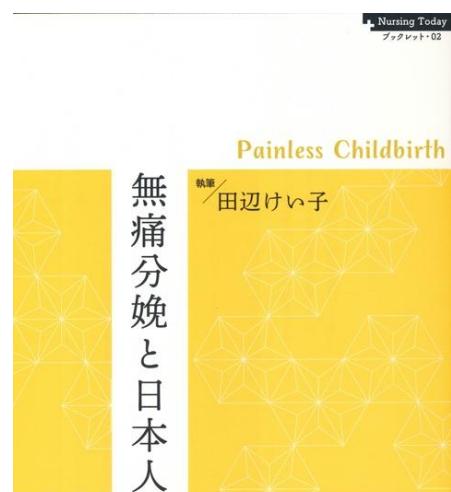
キーワード：無痛分娩、身体観、生殖観、医療人類学

取り組み内容

医療現場では専門性が細分化され、医療技術もめまぐるしく進歩しています。また、多様な生き方や考え方が尊重される時代にあって、お産や育児に対する女性の考え方も変化しています。支援の求め先も多様化・変化しているでしょう。

こうした流れのなかで、助産師のみに許された助産という営みは、どのような専門性をもち、どのように発揮されている／されていくのでしょうか。

この問い合わせに対する解をもとめて、無痛分娩（硬膜外麻酔分娩）の臨床現場をフィールドに調査・研究をしています。



無痛分娩において、「助産」の専門性は
発揮されているのか／しうるのか。

※ 研究成果の一部を、ブックレットにまとめました。

『無痛分娩と日本人：無痛分娩において、「助産」の専門性は
発揮されているのか／しうるのか』

日本看護協会出版会

日本看護協会出版会、2019年

<https://ci.nii.ac.jp/ncid/BB29161148#anc-library>

詳しくは

Researchmap (<https://researchmap.jp/small4414>) をご覧ください。

- twitter ID @tanabekkeikoabs1
- facebook <https://www.facebook.com/profile.php?id=100005564417731>